

IAQ モニター

MODEL 2212-40



日本カノマックス株式会社の製品をご購入いただき,誠にありがとうございます。

本器は精密計器でございますので、本取扱説明書をよくお読みいただき、

警告事項を必ず守って正しくお使いいただきますようお願いいたします。

カノマックスの製品は、カノマックス品質保証システムに基づく検査を経て出荷されていますが、万一製造上の不備による故障や輸送中の事故等による故障が発生した場合には、お近くの営業所またはサービスセンターにご連絡ください。

・本マニュアルは CD-ROM に PDF ファイルで保存されています。 Adobe Acrobat 4.x 以上でご覧下さい。

- ・Windows Vista、Windows 7、Windows8 は米国マイクロソフト社の登録商標です。
- ・本製品の一部または全部を日本カノマックス株式会社の書面による許可なく複写・複製することは、
 その形態を問わず禁じます。
- ・取扱説明書の内容は予告なく変更することがあります。
- ・取扱説明書中において二酸化炭素は CO2、一酸化炭素は CO としています。

Windows Vista /7/8 での本ソフトウェア使用時における注意事項

1. ソフトウェア起動前の注意事項

「スタート」ー「すべてのプログラム」内に あるアイコンを右クリックして「プロパティ」をクリックします。



「互換性」タブをクリックして「特権レベル」項目の 「管理者としてこのプログラムを実行する」にチェックを入れてください。

「OK」をクリックしてこの画面を 閉じてください。



この操作をしないとデータ取り込みや印刷などの時に「実行時エラー」等の エラーでソフトウェアが強制終了する場合があります。

この設定を行ってソフトウェアを起動すると、 「次の不明な発行元からのプログラムにこのコンピュータへの変更を許可しますか?」 のユーザーアカウント制御ダイアログが表示されます。 「はい」をクリックしてソフトウェアを起動してください。

2. 保存データに関する注意事項

 「C:¥」や「Program Files(64bit では Program Files(x86))下にあるフォルダ」に データを保存した場合など、保存されたデータがエクスプローラで表示されない 場合があります。

エクスプローラにある「互換性ファイル」をクリックすることで表示されます。

この操作を行うことができない、または「互換性ファイル」の表示がない場合は マイドキュメントなどユーザーが読み書きできるフォルダにデータ保存する必要が あります。



目次

1.	概要	ę	
	1.1.	システムの概要	
2.	イン	マストール	
	2.1.	インストール	
	2.2.	起動と終了	
	2.3.	アンインストール	
3.	計測	削前の準備	
	3.1.	通信設定	
	3.2.	メイン画面について	
	3.3.	メニューー覧	
	3.4.	コマンドボタン	
	3.5.	グラフ	
	3.6.	オプション	
4.	計測	りおよびデータ転送方法	
	4.1.	計測方法	
	4.2.	データ転送方法	
5.	ヘル	レプ	
6.	ファ	イルの説明	
	6.1.	取り込みデータ保存ファイル	
	6.2.	転送データ保存ファイル	
	6.3.	IAQ.INI ファイル	
7.	困っ	ったときには	
	7.1.	RS232C 設定画面の起動が遅い	
	7.2.	WINDOWS 9X 系や WINDOWS NT 及び WINDOWSXP で動作できない	
	7.3.	通信エラーと表示される	
8.	連絡	各先	ラー! ブックマークが定義されていません。

1.概要

1.1.システムの概要

本ソフトウェアは IAQ モニターからデータを収集してグラフ表示しデータをファイルとして保存します。 また、IAQ モニター本体で取り込んだデータをコンピュータへ読み込んでデータをファイルに保存します。

使用できるパソコンの条件

機種	IBM PC 互換機(DOS/V)
RS232C 通信ポート	1ポート以上装備されていること
0 S	日本語 Windows Vista、Windows 7(32bit,64bit)、Windows 8(32bit,64bit)

※ RS232C-USB変換ケーブルをご使用の場合は、ご使用になるパソコン、通信ケーブル、ご使用条件に よっては正常に動作しないことがありますのでご了承ください。詳細についてのお問い合わせはサービスセンタ ーまでお願いいたします。

2.インストール

2.1.インストール

インストールする場合は必ず管理者権限をもったユーザーでログオンして下記を実行して下さい。

(1)製品 CD-ROM 内の「[Japanese][English]」フォルダにある "Setup.exe" を実行してください。

(2)画面に表示される指示に従って操作してください。

(3)インストールに成功すると、「スタート」メニューの「プログラム」に「Kanomax」が登録されます。

2.2.起動と終了

IAQ モニターソフトウェアを起動するには

- [Windows Vista,Windows 7 の場合]
- スタートメニューから[プログラム] \rightarrow [Kanomax] \rightarrow [IAQ モニターソフトウェア]をクリックします。 [Windows 8]の場合

デスクトップ画面をスタート画面に切り替えて、「IAQ モニターソフトウェア」をクリックします。

IAQ モニターソフトウェアのメイン画面が表示されます。

IAQ モニターソフトウェアを終了するには

・メニューから[ファイル]→[終了]を選びます。

・メイン画面のタイトルバーの右端にある[x]ボタンをクリックします。

2.3.アンインストール

- 1)[マイコンピュータ] → [コントロールパネル]から「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」を 開きます。
- 2)「セットアップと削除」タブ内にインストールされている「IAQ モニターソフトウェア」を 選択し, [追加と削除(R)]ボタンをクリックします。

3.計測前の準備

3.1.通信設定

①通信ケーブルを接続しているパソコン側の COM ポート番号を確認してください。 (スタートメニューから[コントロールパネル]----[システム]---[デバイスマネージャー]で確認できます。)

②IAQ モニター本体のボーレートを確認してください。確認方法は本体の取扱説明書をご参照ください。デフォルト値は9600です。

③本ソフトウェアを起動し、メニューバーから[設定]----[通信設定]を選択します。

下図の通信設定ウィンドウが表示されます。矢印キーをクリックし、設定を変更できます。

④ポート番号をパソコン側の番号と合わせてください。

⑤ボーレートを本体の数値を合わせてください。

その他の設定は特に変更する必要はありません。

ポート番号	現在装備されているポート番号の一覧が表 示されます。
ボーレート	4800, 9600 [※] , 19200, 38400 から選択
データビット	7,8* から選択
パリティ	Even, Odd, None [※] から選択
ストップビット	1*, 1.5,2 から選択
フロー制御	None ^{**} , Xon/Xof, RTS, Xon/RTS から選択

※印はデフォルト値です。

ポート番号	COM3	•
ボーレート	9600	•
データビット	8	•
バリティ	None	*
ストップビット	1	•
フロー制御	None	•
ОК	 +ャン	tziu

3.2.メイン画面について

メイン画面の機能について説明します。



3.3.メニュー一覧

ファイルメニュー

ファイルメニューは、ファイルに関する操作を行うメニューです。

[保存] 計測で取り込んだデータを CSV 形式のファイルで保存します。 [終了] プログラムを終了します。

設定メニュー

各種のパラメータを設定します。

- [通信設定] RS232C の設定を行います。
- [オプション] 保存データのフォルダを設定します。

計測メニュー

計測を行うための各種パラメータを設定します。

[計測設定] 計測を行うためのパラメータ設定を行います。

Help メニュー

[バージョン情報] バージョン情報を表示します。

3.4.コマンドボタン

計測スタート

「計測設定」で設定された条件に従ってデータ取り込みを開始します。 2回目以降の開始の場合、前回データが保存されていない場合は、 「データが保存されていません。保存しますか。」のダイアログが表示されます。 「はい」をクリックするとデータ保存のウィンドウに切り替わります。データを保存して下さい。 データ取り込みを行う場合はもう一度計測スタートを行って下さい。 「いいえ」をクリックすると前回データを破棄してデータ取り込みを開始します。

データ転送

本体で取り込んだデータをコンピュータに転送します。ボタンをクリックすると本体内部のデータを表示し、取り込むデータを選択して転送します。

Zoom On(Zoom Off)

グラフの拡大を実行できるようにします。グラフの拡大が許可されている場合のボタン表示は 「Zoom Off」となっています。

「Zoom Off」にすると拡大されていたグラフが初期状態に戻ります。

但し、計測中このグラフ拡大機能ボタンは使用できません。

3.5.グラフ

左側の軸スケール説明

「O-550 (ppm)」の軸は CO のスケールを表しています。 「O-5500(ppm)」の軸は CO2のスケールを表しています。

グラフのスクロール

マウスの右ボタンを押しながら右又は左にドラッグするとグラフをスクロールすることができます。

グラフの拡大

拡大する領域の左上からマウスの左ボタンを押しながら拡大する領域の右下までドラッグして下さい。 ボタンを離すとグラフが拡大表示されます。

拡大されたグラフを元に戻す場合、グラフ上の任意の場所でマウスの左ボタンを押しながら左方向に ドラッグしボタンを離すか、「Zoom Off」ボタンを押します。

但し、計測中このグラフ拡大機能は使用できません。

3.6.オプション

🚦 オブ	ション設定			
7	オブション設定			
デ	ータ保存フォルダ	C:¥		参照
			OK	

データ保存フォルダ:校正結果を保存するフォルダを設定します。

直接フォルダ名を入力するか(フルパスで入力)、参照ボタンをクリックして フォルダを選択してください。

※ファイルの保存場所のデフォルトは「C:¥」です。

4.計測およびデータ転送方法

4.1.計測方法

パソコンとIAQモニターを接続した状態で、リアルタイムでデータを読み込む方法です。

① 前項の通信設定を行い、メニューの[計測]から[計測設定]を選択します。

② 下図のようなウィンドウが表示されますので、設定を行い、[OK]を選択してください。



③メイン画面右下にある[計測スタート]ボタンをクリックすると計測が開始されます。

途中で計測を中止するときは[計測 ストップ]をクリックしてください。 ④計測が終了したら、メニューの[フ ァイル]から[保存]を選択し、名前を 付けて保存してください。ファイルは CSV 形式です。

※ファイルの保存場所のデフォルト は「C:¥」です。



4.2.データ転送方法

IAQモニターに既に保存されている計測データをパソコンへ転送する方法です。

- ① 前項の通信設定を行い、メイン画面の右下にある[データ転送]ボタンをクリックします。
- ② 下図のようなウィンドウが表示されますので、読み込むページ番号および計測モード(標準/詳細)を選択し、[転送]ボタンをクリックします。

一友市	, čě		1)					
記錄絲	2ページ数	4				2)		
	演算モード	サンプリング時	間 データ数	測定演	算モード	計測	前日	
1 2 3 4	CALCULATION CALCULATION CALCULATION %OA	001 001 001 001	005 005 060 060 3)	AVG AVG AVG TMP	4)	2004/06/22 2004/06/22 2004/06/23 2004/06/23	16:02:49 16:02:56 10:35:03 10:39:17	
	込ページ 👔	÷	○ 標準モード	 ● 詳細モー 	- F			5)
					転送		閉じる	1
メイ このレ	ン画面で「デー ·き 計測」 -	タ転送」ボタンを ータが保友させ	をクリックすると上	記のウィン	ドウが表	示されます	_ \$	6
メイ このと 「デー 「はい データ 「いい	ン画面で「デー き、計測したテ タが保存されて 」をクリックする ヌ転送を行う場・ え」をクリックす	タ転送」ボタンを 「ータが保存され こいません。保存 らとデータ保存の 合はもう一度「ラ 「るとデータ転送	をクリックすると上 っていない場合は 浮しますか。」のダ うウィンドウに切り データ転送」ボタン ちウィンドウが開き	記のウィン 、 イアログか 替わります をクリックし ます。	・ドウが表 「表示され 「。データ して下さし	示されます。 います。 を保存して ゝ。	く て下さい。	6
メイ このと 「デー 「はい データ 「いい 1)本位	ン画面で「デー き、計測したテ タが保存されて 」をクリックする 来転送を行う場 え」をクリックす	タ転送」ボタンを ータが保存され いません。保存 らとデータ保存の 合はもう一度「ラ るとデータ転送 いる総ページ数	をクリックすると上 っていない場合は 字しますか。」のダ うウィンドウに切り データ転送」ボタン やインドウが開き なを表示しています	記のウィン 、 イアログか 替わります をクリックし ます。 た。	・ドウが表 「表示され 「。データ して下さし	示されます。 います。 を保存して ^ヽ 。	く て下さい。	6
メイ このデ「「いい 「デート」の (1)本体体 (1)本体体 (1)本体体 (1)本体体)	ン画面で「デー き、計測したテ タが保存されて す」をクリックする 気」をクリックする え」をクリックす はに記録されて なに記録み込み	タ転送」ボタンを ータが保存され いません。保存 らとデータ保存の 合はもう一度「う るとデータ転送 いる総ページ数 いるデータの詳 たいデータのへ	をクリックすると上 っていない場合は 字しますか。」のダ うウィンドウに切り データ転送」ボタン やインドウが開き なを表示しています。 細です。 ページを設定します	記のウィン 、 イアログか 替わりックし ます。 た。 たの表	ドウが表 「。データ して下さし のセルを	示されます。 います。 を保存して [、] 。	す。 C下さい。 て指定す・	5 5 5
こ「「デ「「1)2)3) 4) 500 メのデはーい 本本本で「4湿ク」 クラン 存存なきのデバリの	ン画面で「デー で「したって る、が保りのなり」を う」を う」を う」を う」を う」を う」を う」を う」を う」を う	タ転送」ボタンを ジータすよいデーシンク いデークをした したいデークーク したいデータを転転 したいデータののでま開 した のでま開 のでま のので に のの ので し の の の の の の で し し し の の の の で し の た の の の の の の の の の の の の の の の の の	をクリックすると上 っていない場合は うしますか。」のダ うウィンドウに切り データ転送」ボタン やったりが開き なを表示しています。 なを表です。 にします。「標準 う/CO2/温度/相対 ます。	記のウィン イオクログかす マロリックし マティン・ す。上の表 す。上の表 オード」では スタード	ドウが表 、テーシーのセルを して下さしのセルを はCO/CC	 示されます。 れます。 を保存して、 クリックし⁻ 02/温度/ 22/温度/ 	す。 て下さい。 て下さい。 す 定度 度度	- <u>6</u> ること の /

③ ファイルの保存先を設定するウィンドウが表示されますので、名前をつけて保存してください。ファイルはC SV形式で保存されます。ファイルの保存場所のデフォルトは「C:¥」です。

5.ヘルプ



[ヘルプ] → [バージョン情報]で上記のような画面を表示します。

6.ファイルの説明

取り込みデータ及び転送データは任意のファイル名で保存することが出来ます。

6.1.取り込みデータ保存ファイル

ファイル名: 任意のファイル名.csv

内容

書式:CSV ファイル形式テキストファイル Date,2004/02/24 Time,12:00:00 Data,9999 Sampling Time,1 Mode,NORMAL Atmos.Pressure,1013 CO,CO2,Temperature., Relative humidity(, Dew-point temperature, Wet-bulb temperature, Absolute humidity,Humidity ratio) ppm,ppm,°C,%RH(,°C,°C,g/m3,g/kg)

AAAAAA,BBBBBB,TTTTTT,HHHHHH(,WWWWW,XXXXXX,YYYYYY,ZZZZZ)

AAAAAA,BBBBBB,TTTTTT,HHHHHH(,WWWWW,XXXXX,YYYYYY,ZZZZZ) 取り込みのモードにより通常モードでは、CO/CO2/温度/相対湿度の4データを、 演算データモードでは、 CO/CO2/温度/相対湿度/露点温度/湿球温度/絶対温度/湿度率の8データをファイルに 保存します。

AAAAAA:CO データBBBBBB:CO2 データTTTTTT:温度データHHHHH:相対湿度データWWWWW:露点温度データXXXXXX:湿球温度データYYYYYY:絶対湿度データZZZZZZ:湿度率データ

6.2.転送データ保存ファイル

ファイル名: 任意のファイル名.csv

内容

書式:CSV ファイル形式テキストファイル

[Calculation]データ

Date,2004/02/24 Time,12:00:00 Data,9999 Sampling Time,1 Mode,CALCULATION(INS) Atmos.Pressure,1013 CO,CO2,Temperature., Relative humidity(, Dew-point temperature, Wet-bulb temperature, Absolute humidity,Humidity ratio) ppm,ppm,°C,%RH(,°C,°C,g/m3,g/kg)

AAAAAA,BBBBBB,TTTTTT,HHHHHH(,WWWWW,XXXXXX,YYYYYY,ZZZZZ)

AAAAAA,BBBBBB,TTTTTT,HHHHHH(,WWWWW,XXXXXX,YYYYYY,ZZZZZ) 取り込みのモードにより通常モードでは、CO/CO2/温度/相対湿度の4データを、 演算データモードでは、 CO/CO2/温度/相対湿度/露点温度/湿球温度/絶対温度/湿度率の8データをファイルに 保存します。

AAAAAA:CO データBBBBBB:CO2 データTTTTTT:温度データHHHHH:相対湿度データWWWWWW:露点温度データXXXXXX:湿球温度データYYYYYY:絶対湿度データZZZZZZ:湿度率データ

[%OA]データ

Date,2004/02/24 Time,12:00:00 Data,9999 Sampling Time,1 Mode,%OA(CO2) Atmos.Pressure,1013 Return_Air,Supply_Air,Outdoor_Air,Percent_Outdoor_Air ppm,ppm,ppm,%OA

```
CCCCCCC,DDDDDDD,EEEEEEE,FFFFFFF
```

CCCCCCC,DDDDDDD,EEEEEEE,FFFFFFF

CCCCCCCC:排気エアー計測値DDDDDDDD:供給エアー計測値EEEEEEEE:換気エアー計測値FFFFFFFF:換気率計測データ

6.3.IAQ.INI ファイル

本ソフトウェア起動に必要なパラメータ等を保存しています。 このファイルを削除すると初期状態に戻ってしまいます。ご注意ください。

※「C:¥Kanomax¥IAQMonitor」フォルダ内の、CSV形式以外のファイルを削除したり、変更したりしますと、ソフトウェアが正常に動作しない場合がありますので、ご注意ください。

7.困ったときには

7.1.RS232C 設定画面の起動が遅い

パソコンに搭載されている RS232C ポートを検索してから表示しています。 パソコンの処理速度等に影響されますので表示されるまでお待ち下さい。

7.2.Windows 9x 系や Windows NT 及び Windows XP で動作できない

本ソフトウェアは Windows Vista/7/8 での動作のみ保証しております。 Windows Vista、Windows 7、Windows 8 のコンピュータのご使用をお勧めいたします。

7.3.通信エラーと表示される

通信設定をご確認ください(P.3-1)。 パソコン、IAQモニターが通信ケーブルによって接続されているか、再度ご確認ください。 本ソフトウェアを一端終了し、再度起動してください。

上記以外の不具合は最寄の営業所もしくは販売店までご相談ください。



日本カノマックス株式会社 〒565-0805 大阪府吹田市清水2番1号

この製品に関するお問い合せは・・・ TEL 0120-009-750 E-mail: environment@kanomax.co.jp

口東京営業所

〒105-0013 東京都港区浜松町2丁目6番2号 浜松町262ビル6F TEL: (03) 5733-6023 FAX: (03) 5733-6024

□大阪営業所 〒565-0805 大阪府吹田市清水2番1号 TEL: (06) 6877-0447 FAX: (06) 6877-8263

□名古屋営業所
 〒460-0011 名古屋市中区大須4丁目1番71号 矢場町中駒ビル8F
 TEL: (052) 241-0535 FAX: (052) 241-0524

©日本カノマックス株式会社 2014

無断転載を禁じます。 本書の内容は、断り無く変更することがあります。

04001/14.10

